

都市再生整備計画 事後評価シート

瑞浪地区

令和7年2月

岐阜県瑞浪市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	瑞浪市		地区名	瑞浪地区			面積	234.8ha		
交付期間	平成30年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	137.3(百万円)		国費率	0.420			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名											
		基幹事業	道路(土岐橋架替関連道路、市道下益見1号線、市道文化センター前線)、公園(中央公園、狭間川公園)										
		提案事業	・事業活用調査(事業効果分析)										
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	・道路(市道下益見1号線、市道文化センター前線)					市道下益見1号線:地権者との交渉が難航し、整備の見込みが立たなかったため。 市道文化センター前線:地権者との交渉が難航し、2期計画で実施するため。			基幹事業である道路の一部事業削除に伴い、目標値「160人」から「158人」に減少させた。		
		提案事業	・事業活用調査(事業効果分析)					市単独事業として実施するため。			影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業											
		提案事業											
	交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
		変更	令和30年度～令和5年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	改良道路の歩行者数	人/日	156	H29年度	158	R5年度		161	○	ありなし	道路改修により、住民生活の便利さと安全性の向上が図られた。	—
	指標2	施設の利用者数	人/年	12,336	H29年度	12,706	R5年度		9,630	△	ありなし●	新型コロナウイルスの影響により野外学習地利用者数は減少したが、東屋、トイレ、遊具等の設置等が利用者の利便性の向上や地域の憩いの場としての利用増につながっている。	令和7年3月
	指標3	公園の利用回数	予約数/年	541	H29年度	568	R5年度		488	△	ありなし●	新型コロナウイルスの影響や新しい生活様式によって占用予約による利用者数は減少したが、徐々に回復している。設置された遊具は、多くの家族連れや近隣の小中学生の遊び場として利用されており、利用者増の要因になっている。	令和7年3月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	官民連携による取組		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	持続的なまちづくり体制の構築						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

瑞浪地区(岐阜県瑞浪市)都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:安心・快適に暮らせる魅力あるまちづくり 目標1:交通ネットワークの充実による利便性の高いまちづくり 目標2:快適な生活環境の創出		改良道路の歩行者数	単位: 人/日	156	H29年度	158	R5年度	161	R5年度
		施設の利用者数	単位: 人/年	12,336	H29年度	12,706	R5年度	9,630	R5年度
		公園の利用回数	単位: 予約数/年	541	H29年度	568	R5年度	488	R5年度
			単位:		H		R		R
			単位:		H		R		R
■狭間川公園						■土岐橋架替関連道路			
・住吉線									
■中央公園						・文化センター前線			
まちの課題の変化						・住吉線、文化センター前線の道路拡幅・歩道設置の実施により、JR瑞浪駅からの通勤通学者や近隣住民にとって、安全で快適に利用できる生活道路としての機能が向上した。目標とした利便性の高いまちづくりにつながっている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響や新しい生活様式によって、瑞浪中央公園を占用予約利用する団体等は減少している。一方で、新設した遊具は多くの家族連れや近隣の小中学生に利用いただいている。周辺住民の新たな遊び場として、快適な生活環境の提供につながっていると考えられる。今後も快適な環境の維持を継続することが課題である。 ・狭間川公園のトイレ建替え、東屋新設、遊具設置により、「野外学習地」利用者が便利に利用できる休憩場所を用意することができた。同時に近隣住民にとっても利用しやすい公園となり、快適な生活環境の創出に寄与した。			
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・引き続き、2期計画で予定する道路改良等を進め、交通ネットワークの充実による安全性と利便性の高いまちづくりを目指します。 ・地域のニーズに沿った施設となるよう見直しも行いながら、心地よく利用してもらえるよう適切な維持管理を継続し、快適な生活環境の維持、創出に努めます。							